

Vol.18

2026.1.15 発行

ハシダタイムズ



本社 経営支援室

本社 経営支援室

K. M

R. I

本社の経営支援室で活躍する **K. M** さんと **R. I** さん。同期として切磋琢磨するお二人は、今の仕事にどのような手応えを感じているのでしょうか。各拠点の支援に尽力するお二人の「攻め」と「守り」の連携プレー、そして等身大の仕事観に迫ります。

経営支援室の業務内容をお聞かせください。

K. M 部署名の通り、各工場の収益向上や管理体制の構築をサポートしています。単に数字を集計するだけでなく、データを基に「次に何をすべきか」を判断することも大切な業務の1つ。ほかにも、設備投資やレイアウト変更の効果を第三者目線で評価するなど、各拠点にとって最善の選択を導き出す役割を担っています。

R. I 当社にはM & Aを通じて、多くの拠点が加わりました。板金加工だけでなく、樹脂加工や電装部

品など業種も多岐にわたり、工場ごとに文化や管理手法も異なります。各拠点に合った支援方法を模索し、経営方針に沿って円滑な業務遂行を支える、柔軟な対応が欠かせません。

業務を行う上で、どのような難しさがありますか。

K. M やはり幅広い知識が必要な点です。加工内容も製作数量も、拠点によってさまざま。そのためテンプレート化された管理手法が通用せず、都度ゼロから考える苦勞があります。私は「現地現物」を重視し、実際に現場へ足を運び、プロである現場の方々とコミュニケーションをとることで知識を吸収しています。

R. I 私も会長の教えである「現地現物」を大切にしています。ネット上の情報よりも、現場に蓄積された情報のほうが確実ですから。データ上は問題なくても、現場では属人化が起きていたといった事例も



過去にありました。そのような「数字」と「リアル」のズレを埋めることに注力しています。

同期がすぐ隣にいることの良さは何ですか。

K. M 私たちは仕事のスタイルが対照的で、うまく補完し合える関係です。**R. I** さんはシステムや情報処理に長けた「ソフト」面担当。私は設備や改善などの「ハード」面担当として、いつも**R. I**さんのことを頼りにしています。

R. I それは私も同感です。**K. M** さんは設備導入などを通じて、新たな仕事を取りに行く「攻め」のタイプ。私は情報セキュリティやデータ管理など、会社の信頼を支える「守り」のタイプです。同じ課題に対しても異なる視点から意見が出せるため、相互に補完できていると感じます。

お互いへの本音をお聞かせください。

K. M システム担当者が少ない今だからこそ、早急なシステム環境の整備が必要ではないかと。DX化を進め、**R. I**さんの業務を分担できる体制を作ってほしいと思っています。

R. I それは確かに、おっしゃる通りです……!私は**K. M**さんの、誰とでも円滑に関係を築ける対話力を尊敬しています。ただ、頼られると何でも引き受け

てしまうところがあるので、もう少し取捨選択してもいいのではないのでしょうか。ときどき心配になることがあります (笑)

K. M やはり、ある程度は選んだほうが良いですね。今後は意識します!

仕事のやりがいや面白さを教えてください。

K. M 取り組みの結果が、明確な数字として表れたときでしょうか。例えば2025年に注力した電気契約の見直しでは、全社で年間約6000万円のコストを削減できる見込みです。拠点の方から「削減できて良かった、ありがとう」と感謝の言葉をいただいたときは、良い仕事ができたと実感しました。

R. I 当社にはまだDX人材が少なく、IT化は未知の領域。将来的にシステムを実装し、業務の効率化や働きやすい環境づくりに貢献できたとき、今よりも大きなやりがいを感じるのではないのでしょうか。まずは実績を積み上げ、**K. M**さんのように現場に喜んでもらえる成果を出していきたいですね。

それぞれの目標を胸に、同期として支え合いながら日々の業務に励む**K. M**さんと**R. I**さん。「攻め」と「守り」で相互に補い合うお二人が、次代のハシダ技研工業を切り拓くキーパーソンとして、その存在感を増していくことは間違いありません。



お客様からの 嬉しいお声

目の前の作業に追われていると、ふと「この仕事は誰の役に立っているのだろう?」と、意義を見失ってしまうことはありませんか?今回は、困難な状況下でお客様の窮地を救い、心からの感謝をいただいた事例をご紹介します。仕事の先にある「喜び」と、その真の価値に迫ります。

八尾工場 サブマネージャー

K. U さん



業務内容

営業と工場運営の両輪で支える

私は現在、営業職と八尾工場のサブマネージャーという2つの役割を担っています。営業としては空調機器メーカーを中心に、見積もり作成から納期・品質管理まで、お客様との窓口業務全般を担当。一方で、サブマネージャーとして、工場の収支管理や人材採用などの運営業務も行っています。お客様の生の声を直接聞きながら、それを工場のマネジメントに反映させることで、円滑な業務遂行を目指しています。

印象に残っているお客様のエピソード

上海ロックダウンの 危機を救った緊急対応

特に印象深いのは、2022年4月の上海ロックダウン時の出来事です。部品供給が止まったお客様から「何とか作れないか」と緊急のご相談をいただき、通常半年の工程をわずか1か月で完遂する挑戦が始まりました。最大の壁は部材調達と工程管理です。物流混乱の中、あらゆるルートで仕入れ先を確保し、代替品も提案して奔走。現場でもデッドラインから逆算した分刻みの工程を組み、夜間対応も含めた体制で稼働するなど、八尾工場一丸となって対応しました。結果、お客様のラインを止めずに納品完了。「生産を継続できた」との感謝の言葉をいただき、全ての苦労が報われました。困難な状況でもベストを尽くせば信頼に応えられると、改めて実感した経験です。



生産打合せの作業風景

お客様に喜んでいただくための心がけ

無理難題でも 「まずはチャレンジ」の精神で

心がけは、どんな難題も「まずはチャレンジ」し、「断らない」こと。物理的に無理でも、実現可能な方法を模索します。例えば予算が合わない場合でも、設備に合わせた設計変更や代替案でコスト削減を提案。過去にはこれで予算内に収め、「相談してよかった」と喜んでいただきました。ベストを尽くす姿勢こそが、「次も頼もう」という信頼につながると確信しています。

今後の目標 ▶▶▶

経験を糧に、 全員が働きやすい工場へ

ロックダウン時の対応を完遂できたのは、工場メンバーや協力会社の支えがあったからこそ。そこで学んだ「工程管理」の重要性は、今も業務に生きています。目標は工場の月商を5000万~6000万円に伸ばすこと。将来的には、社員が「長く働きたい」と思え、お客様から「ハンダ技研なら何とかしてくれる」と頼られる会社を目指します。

仕事のオトモ

「いい仕事」は「いい道具」から。

今回は、熟練の技を支える大型機械と、作業効率を劇的に変えた便利文具が登場します。現場の課題を解決し、品質と効率を高めるこだわりの逸品にご注目ください。



岡山北工場 製造 5 チーム

H. Y さん

使い始めたきっかけ

22年前に入社したときからです。溶接後の製品の歪みを修正する作業を前任者から引き継ぎました。当初は、「鉄の製品がこんなに簡単に曲がってしまうなんて!」と驚いたとともに、力加減がわからずたくさん失敗しました。その経験が、今に活かしています。

こんな人におすすめ!

一点ものの歪み取りなどに効果的

薄肉のパイプや薄板など、他の機械ではパワーが強すぎるときや、反対に手作業では力が足りない場合にちょうど良いものです。また、前述したとおり、複雑な形状の製品やピンポイントで押さえたい場所を押さえることができます。手作業になるため量産には向いていないかもしれませんが、一点ものの歪み取りなどには効果的だと思います。



山本水圧工業所
イージ油圧プレス
APP-20-300Y

このアイテムのいいところ

土台や押す棒を自分たちで作成すれば、センター穴のない製品や溶接後の複雑な形状の製品でも歪みの修正が行えます。油圧は手軽な割に、パワーがしっかりとあります。



千秋技研(株)
製造チーム 加工/サブリーダー

T. H さん

使い始めたきっかけ

3年前からです。油性ペンを購入しようとして文具コーナーを見ていたら、ノック式を見つけたため購入しました。

このアイテムのいいところ

片手で記入でき作業効率がアップ
赤と黒のペンは、ほぼ毎日使用しています。以前はキャップ式を使用していたのですが、外す手間、戻す手間、キャップを落として探す手間を当たり前だと思って作業していました。ノック式を使ってみたら、片手ですぐに記入できて幸せになりました。ほんの数秒ですが、作業効率がアップしています。



マッキーノック
(赤と黒)
ZEBRA社

こんな人におすすめ!

赤と黒と青があるため、業務で油性ペンを使用される方におすすめします。キャップを落として探すストレスから解放されるため、ぜひ使ってみてください。

社長の小部屋 vol.5 私の「仕事のオトモ」 文房具

オトモになった理由

手書きすることで記憶に残りミスも減る

入社当時から、上司の背中を見て技術的なポイントなどをメモする習慣がありました。22歳で営業部に配属されたときから、スケジュールを手帳に記入し、経営会議では各工場の状況をノートに記すようになりました。PCやスマートフォンで行うことも可能ですが、自らの手で書くことでより記憶に残すことができ、字も上手くなり、漢字や英語のスペルを忘れることが減ると思っています。



皆さんへメッセージ

文明の利器にあやかることは便利で効率的です。前述した通りアナログの良さもあります。デジタルとアナログ、両方の良さを使い分けて充実した日々を過ごしましょう。